

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

日本遺産「里沼」と名勝躑躅ヶ岡を中心とした持続可能なまちづくりプロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県館林市

3 地域再生計画の区域

群馬県館林市の全域

4 地域再生計画の目標

「館林市人口ビジョン」では、2005年の79,454人をピークに人口が減少に転じており、2015年時点で76,667人（平成27年国勢調査）まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には61,000人程度と、2015年比で総人口が約80%となる見込みである。

また、本市の人口移動の状況について、進学または就職によるものと推察される転出者が、卒業後に本市へ転入する数を上回っており、一旦進学した者が卒業後に本市に戻ってこないことが考えられる。その要因のひとつに、シビックプライドの低下や本市に居住しながら勤務できる企業が十分でない、また魅力ある職種が少ないことが挙げられる。

これらの課題に対応するために、次に掲げる事項を基本目標とし、日本遺産「里沼」や名勝「躑躅ヶ岡」など、本市のブランド力を最大限に生かしたうえで、産業振興等による新たな雇用を創出し、市外への転出を抑えるとともに、市外からの新たな人の流れを生み出すことで、「しごと」と「ひと」の好循環を作り出し、持続可能な「まち」の活性化を図っていくものとする。

本プロジェクトでは、「産業振興」を大きな原動力として、子どもや若者が明るい未来を描くことができる希望に満ちた「活力あるまち」を創造する。

- ・基本目標1 地方における安定した雇用を創出する
- ・基本目標2 地方への新しい人の流れをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
(1)	民営事業所従業者数	33,192	33,000	基本目標1
(2)	社会増減数	△7	△155	基本目標2

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

- (1) 地方における安定した雇用を創出する事業
 - ア 農産物の付加価値化や農業の担い手確保による農業振興
 - イ 企業誘致の促進や地元企業への経営支援
 - ウ 産業の振興と創業支援
 - エ 観光産業の振興と交流人口の増大

(2) 地方への新しい人の流れをつくる事業

- ア 館林の「食」文化の魅力発信
- イ シティプロモーションの推進
- ウ 「移住・定住」の促進

② 事業の内容

(1) 地方における安定した雇用を創出する事業

- ア 農産物の付加価値化や農業の担い手確保による農業振興
農産物のブランド化や6次産業を推し進めることにより、経営基盤の安定に向けた農産物の高付加価値化や収益性の高い農産物の産地化及び販路の拡大を図り、農業法人による経営や新たな担い手の育成を支援し、

農業の振興を目指す事業。

イ 企業誘致の促進や地元企業への経営支援

直接的な雇用創出につながる企業誘致を進めるとともに、市内の地元企業の持続的な経営と発展を支援し、経済の活性化と雇用の増大を目指す事業。

ウ 産業の振興と創業支援

ものづくり技術の承継、農商工連携による産業の振興を推進するとともに、起業・創業等の取組を支援し、雇用の創出と地域活性化を図る事業。

エ 観光産業の振興と交流人口の増大

世界に誇るつつじの名所「つつじが岡公園」や分福茶釜で有名な「茂林寺」、日本遺産「里沼」等の観光資源の磨き上げのほか、歴史的建造物等のライトアップなどを展開し、にぎわいのある空間を創出することにより、観光産業の振興を目指す事業。

(2) 地方への新しい人の流れをつくる事業

ア 館林の「食」文化の魅力発信

本市は豊かな自然に囲まれ、米や野菜等多くの農産物が作られています。また、小麦が多く取れたことから、うどんをはじめとした「小麦粉」の食文化が発展していることや、食品会社の工場も市内に数多くあるため「食」のまちとしての魅力のPRを図り、市外からの交流人口を増やす事業。

イ シティプロモーションの推進

館林市の魅力を市内外にPRすることにより、市民の郷土愛（シビックプライド）を高めると同時に、市外からの移住者・定住者の増加を図る事業。

ウ 「移住・定住」の促進

本市は豊かな自然に囲まれていると同時に、東武鉄道や東北自動車道により東京圏へのアクセスが便利であるため、東京圏へのベッドタウンとしての機能も果たしている。そのことから、「移住・定住」を希望する人への情報提供や空家・空店舗のリノベーション等を展開することなどによって、居住と創業の支援を進め、若者を中心とした移住者・定住者

の増加を図る事業。

※なお、詳細は館林市地方版総合戦略のとおり。

③ **事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の数値目標に同じ。

④ **寄附の金額の目安**

300,000千円（令和2年度～令和6年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度9月に外部有識者で構成される「館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会」による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに館林市公式ホームページにて公表する。

⑥ **事業実施期間**

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで